
黒、白。【短編編?】

音無 無音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒、白。【短編編？】

【Nコード】

N5056T

【作者名】

音無 無音

【あらすじ】

絶無^{ゼロ}は何も司らない神のような存在であった。彼は人を改心させるために

成績も普通。

身長も、体重も、普通。

何もかもが普通。

普通、普通、普通、普通普通普通普通。

異常ってなんですか？

『教えよつかあ』

小柄な女の子のような少年がふと現れた。

何この子……？

『僕はゼロ。君は三井^{みついいり}伊理さん？

名前だけは、立派に異常だね』

「失礼ね……、ここはどこよ？」

『どこだろうーね。生と死の狭間ってとこかな』

「あ……」

そうか、私……。

部活の帰りに車にひかれて……。

普通、だ、なあ。

『さてえ！本題に入ろつかあ』

ふつと世界が白くなった。

「何？ここどこ？」

と、慌てていると何かが現れてきた。

「あれは私の中学？」

去年新築したばかりだ、つと、関係ないか。
もう死んでるし。

私は学校に入り、自分の教室へと足を向けていた。
不思議……。

操られてるみたいに自然に足が……。。
しばらくすると、声が聞こえてきた。

「
です。さすがですね。三井さん
私？」

覗いてみると、教室で私に注目が集まっていた。

『ここは、君が「天才だったら」の世界。』

「え？」

『次は黒の世界だよ』
また世界が変わった。
今度は黒？

また同じ教室だった。

「今度は何？」

また注目は私。

「なんなんですか！三井さん！」

怒られてる……。！？

「こんな問題もわからないんですか！？」

もう一度やり直したらどうです！？」

気持ち悪かった。

劣り過ぎている自分^{わたし}が。

あんな簡単な問題で、手間取るなんて……。

『どーだった？』

「！」

彼の微笑みはあまりのも凍えるようだった。

次に、目が覚めたのは病院のベッドの上。
両親は泣いて私にすがった。
なんか、ごめんなさい。

いい夢、見たな・・・・・・・・。

（後書き）

なんか、マジで、ごめんなさい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5056t/>

黒、白。【短編編?】

2011年10月3日11時20分発行